

平成21年度 官庁施設保全連絡会議を東北各県で開催

今年度は6月24日の宮城会場を皮切りに、東北6県で官庁施設保全連絡会議を開催しました。

各会場合わせて231名と多くの皆様に参加をいただき、ありがとうございました。

今年度の会議は、本格的な夏の到来の前に「地球温暖化対策」に向けたクールビズの啓蒙と、国家機関を対象に7月31日及び8月14日の報告期限で依頼しました「保全実態調査」への協力要請等を踏まえ、6月下旬～7月中旬に開催させていただきました。

◆会議前(又は後)に保全相談コーナーを設置しました

予算要求方法や建物の定期点検の実施方法等の相談が寄せられました。

なお、施設管理等についての相談は東北地方整備局営繕部及び青森・秋田営繕事務所の「公共建築相談室」にて随時受け付けておりますので、よろしくお願ひします。

◆官庁施設保全連絡会議の議題

午後からの保全連絡会議では、「国家機関の建築物等の保全の現況」、「保全業務支援システムの活用について」、「国家機関の建築物の定期点検について」、「庁舎修繕の予算化と平成22年度要求単価について」、「PCB廃棄物の処理について」、「政府実行計画の推進について」、「地震等災害時の被災状況連絡体制について」といった議題について説明を行いました。



◆「施設保全管理マネージャー証」を発行しました

「施設保全管理マネージャー証」とは、施設保全管理者の業務意識向上等を目的に主に各地区保全連絡会議に参加された方に発行しているものです。宮城・福島地区、青森・岩手地区は平成20年度から、秋田・山形地区は平成16年度から発行しています。

なお、本会議に3回出席された方には「施設保全管理グランドマネージャー証」発行しており、今年度は秋田会場で1人、山形会場で2人の方に発行し、表彰式を行いました。

◆アンケートの結果から

本会議についてのアンケートに多数御協力いただきありがとうございました。

やはり、建物の定期点検の実施方法等についての関心が非常に高く、それについての意見や要望等も多数寄せられました。

また、「非常に参考になりました」等のお褒めの言葉をいただいた一方で「全体的に説明が早口」「専門用語が多く解りにくい」などの意見もいただきました。

このアンケート結果を参考に、来年度以降も「官庁施設保全連絡会議」を開催いたしますのでよろしくお願ひします。



